

(株)島田鉄工

株式会社島田鉄工は、1959年に操業を開始し、建設機械(ブルドーザー、パワーショベル、ホイールローダーなど)、産業機械(大型・中型プレス)やフォークリフトなどの「外装部品」の製造を得意とする薄板板金・溶接の専門家集団です。切断加工／曲げ加工／プレス加工／パンチング加工／溶接／塗装／艀装(簡易組立)の工程を請け負う一貫生産体制で、短納期や多品種・小ロットに対応する部品製造メーカーです。

2012年に企業間のコスト競争が激化し、企業体質の強化による競争力の向上が急務となりました。それを契機としてTQM導入を決意し、同時期に『エコステージ』(EMS)活動を開始し、5S・安全・品質・納期・原価などを中心に活動を行いました。

これらの活動により一定の成果は得られたものの、事務局中心の活動であり、改善活動も一部のメンバーの活動に止まっており、活動全体が停滞しつつありました。企業としてのビジョンの明確化、全従業員のベクトル合わせのための方針管理、品質向上のための標準化・日常管理の強化による企業体質の更なる向上のため、2016年にTQM強化宣言を行いました。

「教える側も教わる側も共に学ぶ姿勢を持って、共に成長する」=『共育』の教育方針と、社訓の「現状維持は衰退、挑戦なくして成長なし」をスローガンに、人材育成、改善活動を中心とした仕組みづくりの強化を行いました。

1)人材育成『共育』

「企業は人なり」の考え方の下、「リーダーの育成」「組織(グループ)の育成」「個人の育成」の3つに焦点を絞り、互いに影響し合うように人材育成計画を作成し実践しています。

2)改善活動3本柱

全員参加の活動を基本とし、個人の改善活動として「KAIZEN提出制度」、職場の問題解決小集団として「改善グループ活動」、社内横断の課題解決小集団として「社内改善プロジェクト」の3本柱を改善の軸に据えて活動を行っています。

今後はTQM活動を更に発展させ、薄板板金のオンリーワン／ナンバーワン企業となるため、また世界を陰から支えるメーカー企業として、常に挑戦し努力し続けます。

所在地:石川県小松市

受賞理由

株式会社島田鉄工(以下、同社)は、社員数90名、建設機械や産業機械の板金溶接部品の受注生産を行っている組織である。設計・展開工程、プレス工程、切断工程、曲げ工程、溶接工程、塗装工程、検査工程、集荷工程と一貫生産体制である。

同社のTQMの第一の特徴は、トップが積極的にリーダーシップを発揮していることである。第二の特徴は、全員参加型の改善活動の仕組みづくりである。第三の特徴は、教わる側も教える側も共に育つ“共育”として人材育成を積極的に行っていることである。結果として、自責納入不具合件数が約40%減り、売上額及び利益率も目標値を達成した。